

4 製造品出荷額等

- * 製造品出荷額等は7兆5777億円
- * 産業別では、「輸送用機械」が1兆4820億円（構成比19.6%）で最も多い
- * 地域別では、府中市が7705億円（構成比10.2%）で最も多い

(1) 産業別の状況

産業中分類別にみると、「輸送用機械」が1兆4820億円（構成比19.6%）で最も多く、次いで「電気機械」が7841億円（同10.3%）、「印刷・同関連業」が7418億円（同9.8%）となっている。

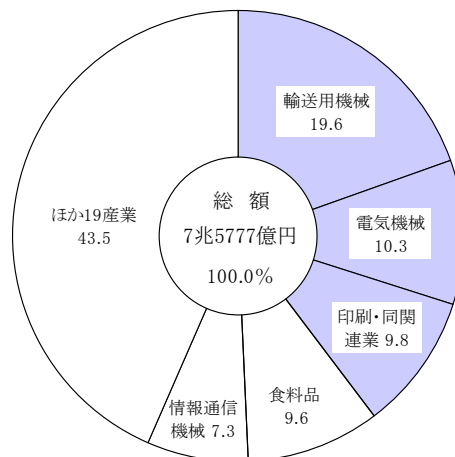
前回と比較すると、14産業が増加し、10産業が減少している。

前回と比較して増加した産業のうち増加額が最も多いのは、「電気機械」の393億円（5.3%）、次いで「生産用機械」の233億円（5.8%）、「化学工業」の229億円（6.3%）となっている。

前回と比較して減少した産業のうち減少額が最も多いのは、「輸送用機械」の1047億円（△6.6%）、次いで「印刷・同関連業」の292億円（△3.8%）、「電子・デバイス」の262億円（△6.6%）となっている。

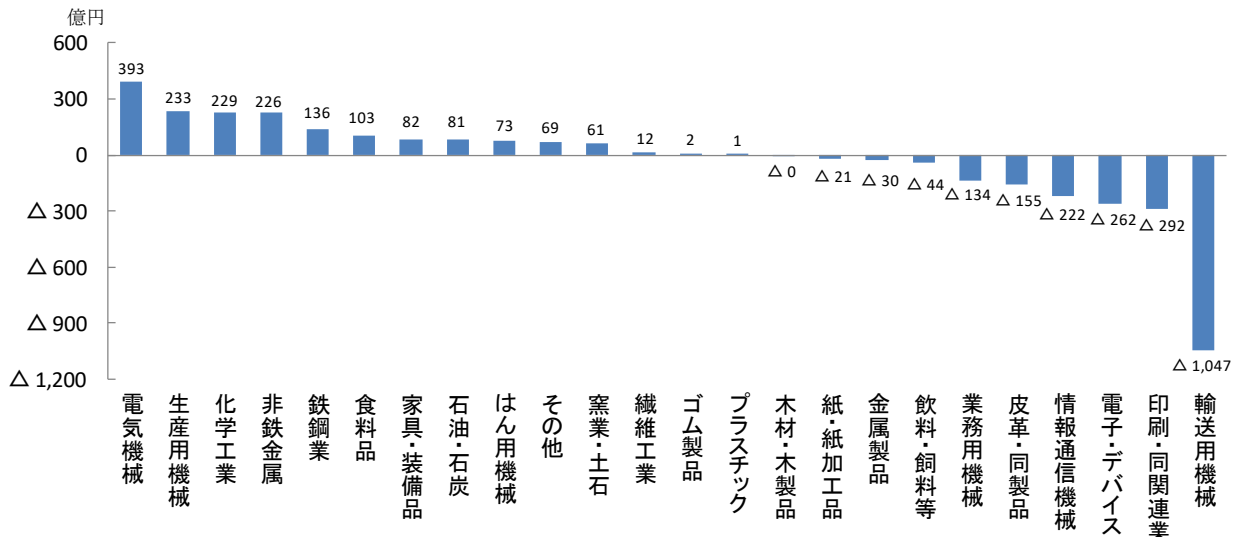
（図17、図18、付表1）

図17 産業中分類別製造品出荷額等構成比（従業者4人以上）



注) 上位3産業に網掛けをしている。

図18 産業中分類別製造品出荷額等対前回増減数（従業者4人以上）



(2) 従業者規模別の状況

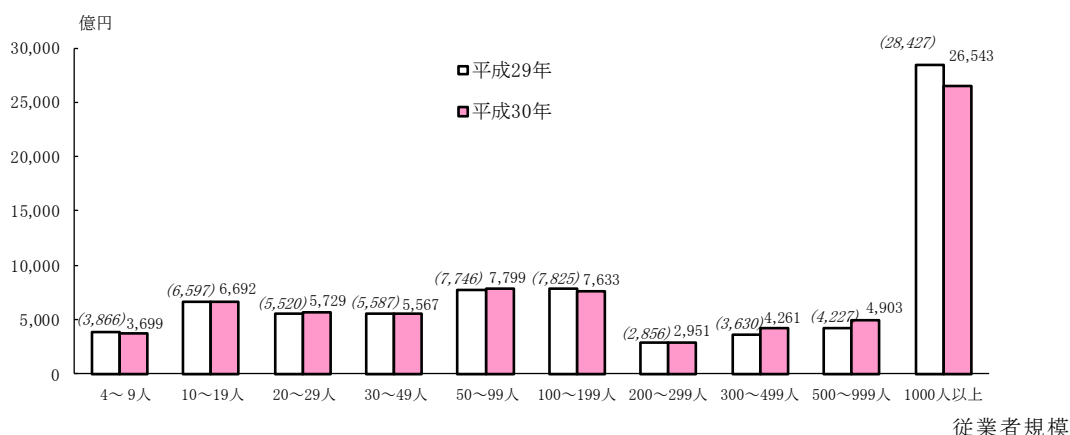
従業者規模別にみると、「1000人以上」が2兆6543億円（構成比35.0%）で最も多く、次いで「50～99人」が7799億円（同10.3%）、「100～199人」が7633億円（同10.1%）となっている。

前回と比較すると、6区分が増加し、4区分が減少している。

前回と比較して増加した区分のうち増加額が最も多いのは、「500～999人」の676億円（16.0%）、次いで「300～499人」の630億円（17.4%）、「20～29人」の208億円（3.8%）となっている。

前回と比較して減少した区分のうち減少額が最も多いのは、「1000人以上」の1885億円（△6.6%）、次いで「100～199人」の192億円（△2.5%）、「4～9人」の167億円（△4.3%）となっている。（図19、付表2）

図19 従業者規模別製造品出荷額等（従業者4人以上）



(3) 地域別の状況

地域別にみると、区部が2兆9211億円（構成比38.5%）、市部が4兆136億円（同53.0%）、郡部が6402億円（同8.4%）、島部が28億円（同0.0%）となっている。

区市町村別にみると、区部では、大田区が4213億円（同5.6%）で最も多く、次いで板橋区が3526億円（同4.7%）、墨田区が2950億円（同3.9%）となっている。

市部では、府中市が7705億円（同10.2%）で最も多く、次いで羽村市が7618億円（同10.1%）、昭島市が5067億円（同6.7%）となっている。

郡・島部では、瑞穂町が5919億円（同7.8%）で最も多くなっている。（図20、付表3）

図20 区市町村別製造品出荷額等構成比（従業者4人以上）

